

論点等説明シート

事業名	麻薬等対策推進費(広報経費) (1)覚せい剤撲滅啓発等委託費 (2)覚せい剤防止特別対策費(啓発用資材作成費等) (3)薬物乱用防止普及啓発推進事業費 (4)再乱用防止対策事業費					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	157	155	170	148	
	執行額	141	135	129		
	執行率	90.0%	86.8%	75.8%		
	総事業費(執行ベース)	141	135	129		

事業についての論点等

(事業の概要)

薬物乱用防止キャラバンカーの運行管理事業等の民間団体への委託や「ダメ。ゼッタイ。」普及運動等の啓発運動及び青少年等を対象とした薬物乱用防止のために必要な啓発資料の作成・配付を行う。

(論点)

- 啓発読本の配布やキャラバンカー運行等による啓発方法の費用対効果を検証した上で、より効果的な啓発方法について検討すべきではないか。

【覚せい剤撲滅啓発等委託費】

- 財団が管理しているキャラバンカー8台は、国からの委託費により設置しているが、運行管理に係る経費については、5台分を国からの委託費、3台分を独立行政法人福祉医療機構からの助成金により実施している。委託費と助成金の両方により事業を実施することが適切かどうか。

(稼働状況等)

【薬物乱用防止キャラバンカー運行管理事業(8台分)】

	H19'	H20'	H21'
訪問か所数	(701か所) 1,292か所	(685か所) 1,271か所	(764か所) 1,350か所
稼働日数	(589日) 1,061日	(597日) 1,085日	(631日) 1,134日
参加人数	(88,679人) 166,186人	(101,912人) 171,726人	(113,146人) 195,427人

※上段( )書きは、委託費による5台分の稼働状況

<設置場所>

北海道地区(北海道1台)、東北・関東地区(東京都3台)、東海北陸地区(岐阜県1台)、近畿地区(兵庫県1台)、中国・四国地区(岡山県1台)、九州・沖縄地区(福岡県1台)

※上記のうち、東北・関東地区(東京都1台)、近畿地区(兵庫県1台)、九州・沖縄地区(福岡県1台)の3台については、(独)医療福祉機構からの助成金(地域や家庭における子育て支援に関する事業)により運行管理

## 【薬物乱用防止普及啓発推進事業】

○ 啓発読本について、21年度は1～2月に配布しているが、配布先での活用時期を考慮し、配布時期を見直すべきではないか。

また、小学校、中学校、高校等に対して、単に啓発読本を配布するだけでなく、どのように活用されているかをきちんと把握すべきではないか。

(平成21年度配布時期)

小学生の保護者への薬物乱用防止啓発読本	平成22年2月
全中学1年生へのMDMA、大麻、違法ドラッグ乱用防止啓発読本	平成22年1月
高校3年生への大麻及び覚せい剤に特化した啓発読本	平成22年2月
未成年労働者等に対する啓発読本	平成22年2月

## 【覚せい剤防止特別対策費及び薬物乱用防止普及啓発推進事業費】

○ 啓発資料のコンテンツ作成について、財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターへ発注して行う必要があるのかどうか。

(啓発資料のコンテンツ作成に係る平成21年度契約実績)

### 【覚せい剤防止特別対策費】

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動趣意書及びリーフレットコンテンツ作成 976千円

### 【薬物乱用防止普及啓発推進事業費】

MDMA・大麻・違法ドラッグ乱用防止読本コンテンツ作成 804千円

青少年向け薬物乱用防止読本及び小学生保護者向け薬物乱用防止読本コンテンツ作成 947千円

覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグ乱用防止読本コンテンツ作成 699千円